

令和6(2024)年度

通常総会資料

令和6(2024)年7月20日



東京理科大学薬学部同窓会

令和6(2024)年度東京理科大学薬学部同窓会通常総会次第

令和6(2024)年7月20日
インテリジェントロビー・ルコ

第一部 令和6(2024)年度東京理科大学薬学部同窓会通常総会

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 議長選出

4. 議事録署名人の指名

5. 議 題

第一号議案 令和5(2023)年度事業報告の件

第二号議案 令和5(2023)年度決算報告及び監査報告の件

第三号議案 令和6(2024)年度事業計画案の件

第四号議案 令和6(2024)年度予算案の件

第五号議案 会則改正の件（会費の改正）

6. 報告事項

7. 閉 会

第二部 特別講演

「理科大を離れた30年を振り返ってみる ～雑感：研究のこと、大学教育のこと～」

講演者：獨協医科大学研究連携・支援センター

基礎共同利用室 准教授 小嶋 英史 先生（27期）

「これからの薬剤師に期待される役割を考える

～日本の薬剤師を取り巻く、最近の環境変化から考察する～」

講演者：株式会社E Pファーマライン

代表取締役社長 池田 佳奈美 先生（27期）

令和5(2023)年度事業報告

1. 同窓会通常総会の開催

令和5(2023)年 7月22日 インテリジェントロビー・ルコ

特別講演会

「漢方を活かしたやさしい暮らし」

講演者：薬剤師

国際中医師 川手 鮎子 先生(2期)

懇親会

2. 同窓会会報「ふなかわら」第35号の発行

令和5(2023)年9月30日

3. 地区交流会の開催

令和5(2023)年9月17日

第56回日本薬剤師会学術大会(和歌山)に合わせて、交流会開催

→ 学術大会がハイブリッド開催で現地参加者が少ないことが予想されている

ため、開催中止

4. 新会員勧誘 資料を258名に送付

令和6(2024)年1月31日

会費納入は、令和6(2024)年3月卒業者(61期)16名、大学院修了者6名

5. 卒業生・修了生全員に卒業・修了記念品(記念スパーテル)を贈呈

令和5(2023)年9月、令和6(2024)年3月18日

6. 卒業生(61期)へ同窓会カード(個人別会員証)を配付

令和6(2024)年3月18日

7. 卒業祝賀会へ祝金10万円を贈呈

令和6(2024)年3月18日

8. 同期会開催(1、2、4、15、17、18、19、22、26期)

同期会開催に際し、祝金3万円を贈呈(2、4、15、17、18、19、22、26期)

9. ホームページのメンテナンス

10. WEB名簿システムのメンテナンス

11. LINE公式アカウントの取得

12. 定例会の開催(ハイブリッド開催)

令和5(2023)年 4月22日、令和5(2023)年 7月22日

令和5(2023)年 9月30日、令和6(2024)年 1月20日

令和6(2024)年 2月14日～21日(メールによる審議)

13. 正副会長会の開催(ハイブリッド開催)

令和5(2023)年 6月17日、令和5(2023)年12月16日

14. 大学関連

- ・医療薬学教育研究支援センターへの協力
- ・就職懇話会(キャリア学習C)への協力(令和5(2023)年7月1日)
- ・実践社会薬学への協力

15. 理窓会関連

- ・理窓会ホームカミングデーへの協力(令和5(2023)年10月29日)

令和5年度会計報告
 東京理科大学薬学部同窓会
 令和5年4月1日～令和6年3月31日

収入の部		支出の部		
内訳	金額	内訳	金額	摘要
同窓会費	2,474,000	人件費	686,154	アルバイト代
預金利息(合計)	128	通信費	29,858	さくらインターネット
		諸案内状印刷発送費	1,662,734	ふなかわら印刷発送(菅原印刷)
		郵便代・宅配代	26,429	
寄付金	77,850	文具・事務経費	16,105	振込料 2,960円、その他 13,145円
		プリンター経費	79,800	実務薬学研究室
総会懇親会参加費	242,000	総会講演会謝金	50,000	講師御礼
地区交流会懇親会参加費	0	総会経費	74,388	会場費・機器使用料
		総会懇親会費	242,000	
理窓会より総会祝い金	30,000	地区交流会懇親会費	0	出席者が少ないと予想されたため開催中止
		定例会 会議室使用料	8,000	
		同窓会パンフレット作成、送付	147,604	
資産より繰り入れ	1,208,046	同窓会カード作成	95,612	卒業生164名分
		卒業修了記念品代	201,960	記念スパーテル270本
		卒業謝恩会祝金	100,000	
		交際費	55,380	事務課他 お中元・お歳暮等
		同期会協賛金	240,000	8期分(2、4、15、17、18、19、22、26期)
		ホームページ維持費	132,000	エスト社
		名簿システム維持費・新規登録料	33,000	アジル社
		理窓会関連団体交流会懇親会費	0	開催されなかったため
		理窓会ホームカミングデー	20,000	
		雑誌広告	6,000	理窓会会報2024年1月号
		就職懇話会謝金	0	
		学会等協賛金	0	
		雑費	125,000	返金3件(重複会費等)
合計	4,032,024	合計	4,032,024	

資産内訳

郵便局振替口座	823,092
定期預金(三菱UFJ銀行)	4,531,689
普通預金(三菱UFJ銀行)	1,716,945
普通預金(みずほ銀行)	110,689
ゆうちょ銀行	3,488,631
現金	360,925
	11,031,971

2024年 6月29日

会計

牧田 美保



監査報告

会計報告の各事項を調査し、その収支ともに正確であることを認めます。

2024年 7月3日

会計監査

青山 隆夫

花岡 信子



令和6(2024)年度事業計画案

1. 同窓会通常総会の開催 令和6(2024)年7月20日
2. 同窓会会報「ふなかわら」第36号(電子版)の発行 令和6(2024)年10月
3. 地区交流会の開催 令和6(2024)年9月22日
第57回日本薬剤師会学術大会(埼玉)に合わせて、交流会開催
4. 新会員勧誘 資料を送付 令和7(2025)年1月～2月
5. 卒業生へ同窓会カード(個人別会員証)を配付
令和6(2024)年9月、令和7(2025)年3月
6. 卒業祝賀会へ祝金3万円を贈呈 令和7(2025)年3月
7. 同期会開催に際し、祝金3万円を贈呈
8. ホームページのメンテナンス
9. WEB名簿システムのメンテナンス
10. LINE公式アカウントの運用
11. 定例会の開催(ハイブリッド開催)
令和6(2024)年4月13日、令和6(2024)年7月20日
令和6(2024)年10月、令和7(2025)年1月を予定
11. 正副会長会の開催(ハイブリッド開催) 令和6(2024)年6月29日
12. 大学関連
 - ・医療薬学教育研究支援センターへの協力
会費納入者に対し、生涯学習受講料の補助を行う
 - ・就職懇話会(キャリア学習)への協力(令和6(2024)年7月6日)
 - ・実践社会薬学への協力
 - ・その他
13. 理窓会関連
 - ・理窓会ホームカミングデーへの協力(令和6(2024)年11月24日)
 - ・その他

令和6年度収支予算案

東京理科大学薬学部同窓会

令和6年4月1日～令和7年3月31日

収入の部		支出の部	
内訳	金額	内訳	金額
同窓会費	3,000,000	人件費(アルバイト代)	700,000
総会懇親会参加費	220,000	通信費(さくらインターネット、ウィルスバスター)	30,000
地区交流会懇親会参加費	200,000	印刷発送費(ふなかわら発送停止のお知らせ、同窓会カード)	1,500,000
		ふなかわら36号電子版作成費	200,000
		郵便代、宅配代	50,000
		文具・事務経費	50,000
寄付金など	50,000	プリンター経費	79,800
預金利息	300		
		総会講演会謝金	50,000
資産より繰り入れ	646,500	総会経費	100,000
		総会懇親会費	220,000
		地区交流会懇親会費	200,000
		定例会会議室使用料	10,000
		同窓会パンフレット作成、送付	150,000
		同窓会カード(個人別会員証)	100,000
		卒業祝賀会祝金	30,000
		交際費(事務課他 お中元・お歳暮)	60,000
		同期会協賛金(5期分)	150,000
		ホームページ維持費	132,000
		WEB名簿システム関連費	50,000
		LINE公式アカウント維持費	60,000
		医療薬学教育研究支援センター生涯学習受講料補助	50,000
		学会等協賛金	30,000
		理窓会関連団体交流会懇親会費	15,000
		理窓会ホームカミングデー	30,000
		雑誌広告	10,000
		就職懇話会謝金	10,000
		予備費	50,000
合計	4,116,800	合計	4,116,800

会則改正の件

◎改正の趣旨

1. 背景

別紙資料の通り、薬学部同窓会の収支は、2016年より赤字に転落し、近年では毎年100万円程度の赤字を出している。このままでは、あと、10年程で資産を食いつぶし、薬学部同窓会の活動ができなくなる。

同様の状況は、平成10年頃もあり、その際には、卒業時の同窓会活動の周知と会費納入をお願いすることで、黒字化を成し遂げることができたが、その活動もマンネリ化し、十分な周知活動ができていないことから、卒業時の会費納入も減少し、以前と同様の状態に陥ってきている。

そのため、再度、薬学部同窓会活動の活性化と会費収入増等を図りたいので、会則のうち、会費に関する規定を今回見直したい。

2. 対応

この状況を改善するため、定例会及び正副会長会では、議論を重ね、以下の点の改革を進めたい。なお、以下の取組みの状況は、今後も定例会及び正副会長会でフォローし、適宜必要な見直しを行っていくこととしたい。

- ① **卒業時**に、薬学部同窓会活動の周知と会費納入のお願いを大学側の協力も得て、各研究室などから行うことを、大学側をお願いすること。その際には、薬学部同窓会を忘れていてもらうために、個人別会員証をスパテルの代わりに卒業生に配布する。
- ② **卒業後**、住所判明者には、卒業生共通カードを配布するとともに、LINEの登録をお願いし、LINEを用いて定期的に同窓会活動の案内やふなかわらの配信などを行う。なお、会費納入のお願いも行う。LINEは高齢者で一番使用されているSNSであることから、LINEを選定したが、今後、他のSNSも検討していく。
- ③ **会費納入者のメリット**として、薬学部医療薬学教育研究支援センター生涯学習講座受講料に対して、半額補助を行う。
- ④ 同窓会誌である「ふなかわら」の印刷発送費用（令和5年度で約166万円）を削減するため、紙媒体の印刷発送をとりやめ、薬学部同窓会の**歳出経費の削減**を行う。なお、この点は、LINEの登録状況も含め、よくフォローしていきたい。
- ⑤ 薬学部同窓会の収支を改善するため、**終身会費納入者を中心に、1口1万円の寄付を募るとともに、終身会費（一親等以内親族、配偶者の割引を含む）、及び、卒業前会費割引を廃止し、年会費と30年会費のシンプルな会費設定とする。なお、新規の終身会費は取りやめるが、本年度末までに、終身会費を支払った会員は、終身会費廃止後も、終身で会費を支払ったものとして取り扱う。**

新会費プラン

【現在】

年会費	2,000 円
終身会費	50,000 円 (卒業時キャンペーン 30,000 円(40%割引))

【新プラン】

1 年会費	2,000 円 (複数年まとめて払い可能)
30 年会費	30,000 円 (50%割引)

- ・現在の終身会費納入者を中心に寄附を募集 1 口 10,000 円

東京理科大学薬学部同窓会会則 (改正案)

第1章 総 則

(名 称)

第1条 本会は東京理科大学薬学部同窓会と称する。

(事務所の所在地)

第2条 本会は事務所を千葉県野田市山崎2641番地 東京理科大学薬学部におく。

(目 的)

第3条 本会は会員相互の親睦を厚くし、会員の教養、学識及び職能の向上を図るとともに、東京理科大学薬学部の教育及び研究の発展に寄与することを目的とする。

(事 業)

第4条 本会は上記の目的達成のため次の事業を行う。

1. 本会の目的遂行のため必要な印刷物の発行
2. 研究会、講演会、その他各種集会の開催
3. その他、本会の目的を達成するために必要な事業

第2章 会 員

(会員の資格)

第5条 本会は次の会員をもって構成する。

1. 会 員 東京理科大学薬学部の卒業者及び大学院修了者
2. 正 会 員 会員のうち会費を納めたもの
3. 準 会 員 本学薬学部在籍する学生
4. 特別会員 本薬学部現及び元職員及び本学薬学部出身者以外で本会の目的に賛同され、定例会で承認されたもの (但し、正会員であるものは除く)

(会員の義務及び権利)

第6条 会員は会則第3条の趣旨にのっとり、会長その他の要請に応じ本会の事業に協力しなければ

- ならない。
2. 会員は本会において定める年会費もしくは終身会費を納めなければならない。
 3. 会員は氏名、住所、職業など身上に異動を生じた時には、遅滞なく名簿システムに登録しなければならない。
 4. 会員は本会の事業に参加することができる。

第3章 役員

(役員の種類)

第7条 本会には次の役員をおく

- 会長1名 定例会に於いて正会員の中より推薦し、総会の承認を得るものとする。
- 副会長5名以内 会長が正会員より推薦し、総会の承認を得るものとする。ただし、年齢、性別、職域などに偏りがないように努める。
- 顧問 同窓会の役員を永年務め、同窓会に功労のあった人を正副会長会で推薦し、総会の承認を得るものとする。
- 幹事 会長が、原則として各卒業年度の各学科から1名以上を正会員より選出する。
- 会計担当幹事 正副会長会において正会員の中から推薦し、総会の承認を得るものとする。
- 監査役2名 総会の承認を得るものとする。

(役員職務)

第8条 各役員の仕事は次の通りとする。

1. 会長は本会を代表し、仕事を統理する。
2. 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときはその職務を代行する。
3. 顧問は同窓会の運営に対して助言する。
4. 幹事は定例会を組織し、本会の運営を統轄し、管理する。
5. 会計担当幹事は本会の会計を統轄し、管理する。
6. 監査役は会計その他を監査する。

(役員任期)

第9条 役員の仕事は4年とし、再任を妨げない。但し、補欠役員の仕事は前任者の残存期間とする。

第4章 会議

(会議の種類)

第10条 本会の会議は、総会、定例会、及び正副会長会とする。

(総会)

第11条 総会は次の場合に開かれる。

1. 定期総会 毎年1回会長が招集する。
2. 臨時総会 定例会が必要と認めたとき及び2割に当たる正会員が特に開催を請求したとき。

(定例会)

第12条 定例会は、会長、副会長、幹事、会員、準会員、特別会員及び会長が認める者が参加でき、定期的に会長がこれを招集する。

2. 本会の目的を達成するために必要な事業について検討を行い、実施するものとする。

(正副会長会)

第13条 正副会長会は、会長及び副会長で構成し、仕事の重要事項について議論するために、必要に応じて会長がこれを招集する。なお、会計担当幹事、監査役および顧問は必要に応じて、会長が召集する。本会は会長の出席と2名以上の副会長の出席をもって成立する。

(会議の議決)

第14条 総会の議決は、出席正会員の過半数の同意をもって成立する。可否同数のときは議長の決するところによる。なお、正副会長会及び定例会の議決は全体的合意で行う。

(総会の議長)

第15条 総会の議長は総会において正会員の中より選出される。

(定例会の議長)

第16条 定例会の議長は、会長がこれにあたる。

(総会の承認事項)

第17条 次の事項は総会の承認を得なければならない。

1. 会長・副会長・会計担当幹事・監査役の選任
2. 事業計画及び収支予算
3. 事業報告及び収支決算
4. その他定例会及び正副会長会が必要と認めた事項

(会議の記録)

第17条の2 議長は各会議における経過について、これを記録しなければならない。

第5章 庶務及び会計

(事業年度)

第18条 本会の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(経費)

第19条 本会の経費は原則として会費及び寄付金、その他をもってこれにあてる。

(会費)

第20条 会費は、年会費 2,000 円とする。~~終身会員の会費(終身会費)は 50,000 円~~ **30 年会費は 30,000 円とする。**ただし、特別会員に会費納入の義務はない。**また、既に、終身会費を支払った会員については、終身会費廃止後も、なお、終身で会費を支払ったものとして取扱う。**

~~なお、会員の一親等親族及び会員の配偶者の、年会費及び終身会員の会費は 1/2 とする。~~

~~第20条の2 卒業前(大学院生も含む)の会費の一括納入に関しては以下のように扱う。~~

~~10 年会費 18,000 円 (卒業後は 20,000 円)~~

~~終身会費 30,000 円 (卒業後は 50,000 円)~~

第6章 会則の改正

(会則の改正)

第21条 本会則の改正は、正会員がこれを必要と認めた場合、改正案を定例会に提出し承認を経て総会にはかることができる。この場合、総会への提案者は定例会とする。

付 則

(平成 15(2003)年 7 月 26 日改正)

会則は平成 15(2003)年 7 月 26 日より施行する。

(平成 16(2004)年 7 月 24 日改正)

会則は平成 16(2004)年 7 月 24 日より施行する。

(平成 17(2005)年 7 月 23 日改正)

会則は平成 17(2005)年 7 月 23 日より施行する。

(平成 25(2013)年 7 月 27 日改正)

会則は平成 25(2013)年 7 月 27 日より施行する。

(令和元(2019)年 7 月 20 日改正)

会則は令和元(2019)年 7 月 20 日より施行する。

(令和 3(2021)年 7 月 20 日改正)

会則は令和 3(2021)年 7 月 20 日より施行する。

(令和 6(2024)年 7 月 20 日改正)

会則は令和 7(2025)年 4 月 1 日より施行する。

同窓会カードについて

個人別会員証

2024年3月卒業生(61期)に下記の個人別会員証を配布しました。今年度からは卒業記念スパーテルは配布せず、このカードを継続して配布する予定です。氏名および卒業後使用できるメールアドレスを記載しています。また、裏面には5年後に同期会を開催案内するためにLINEのQRコードを掲載しました。4年制卒業生には7年後と案内しています。入学同期に合わせるためです。若い世代に同窓会の活動に参加してもらうことを目的としています。



卒業生共通カード

既卒の住所判明者には下記の、氏名やメールアドレスの記載がない全員共通のカードを配布します。LINEのQRコードで友達追加することで、定例会の案内や「ふなかわら」などの情報が届くようになります。



収入・支出推移 2014～2023

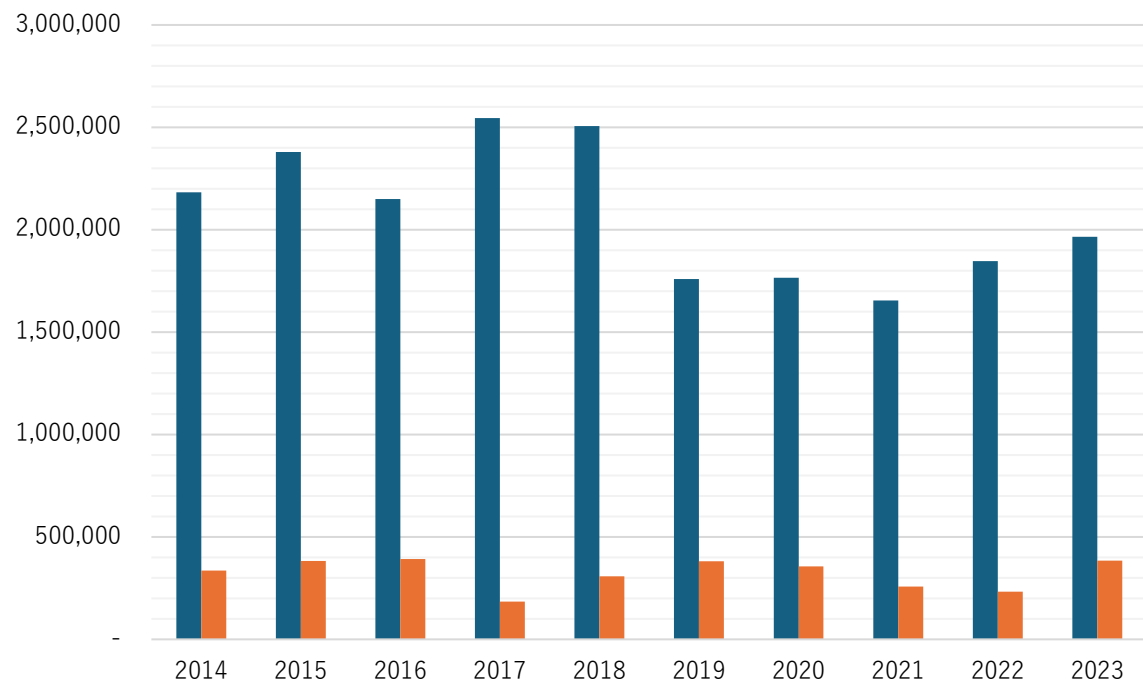


収入差額 (資産へ繰越)	237,581	319,453	-91,963	-1,072,375	-254,479	-1,475,102	-765,776	-894,833	-1,039,041	-1,208,046
資産額	17,514,143	17,833,586	17,741,623	16,669,248	16,414,769	14,939,667	14,173,891	13,279,058	12,240,017	11,031,971

終身会費・年会費別 納入額・納入者数 2014～2023

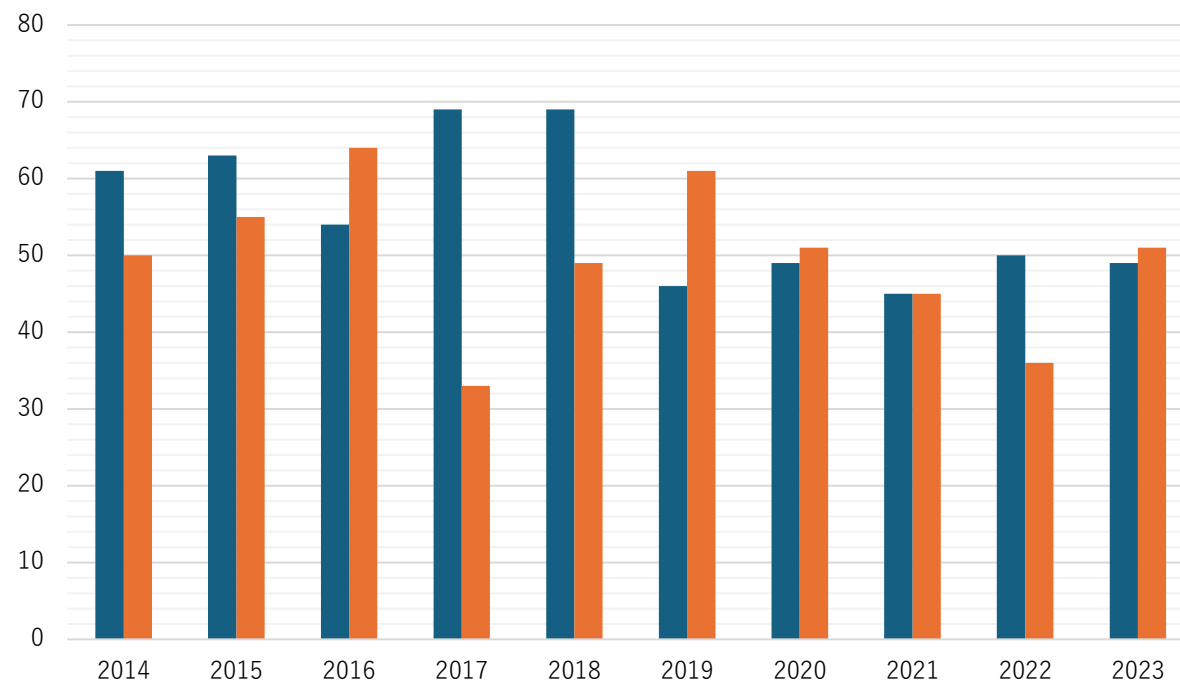
納入額

■ 終身会費 ■ 年会費



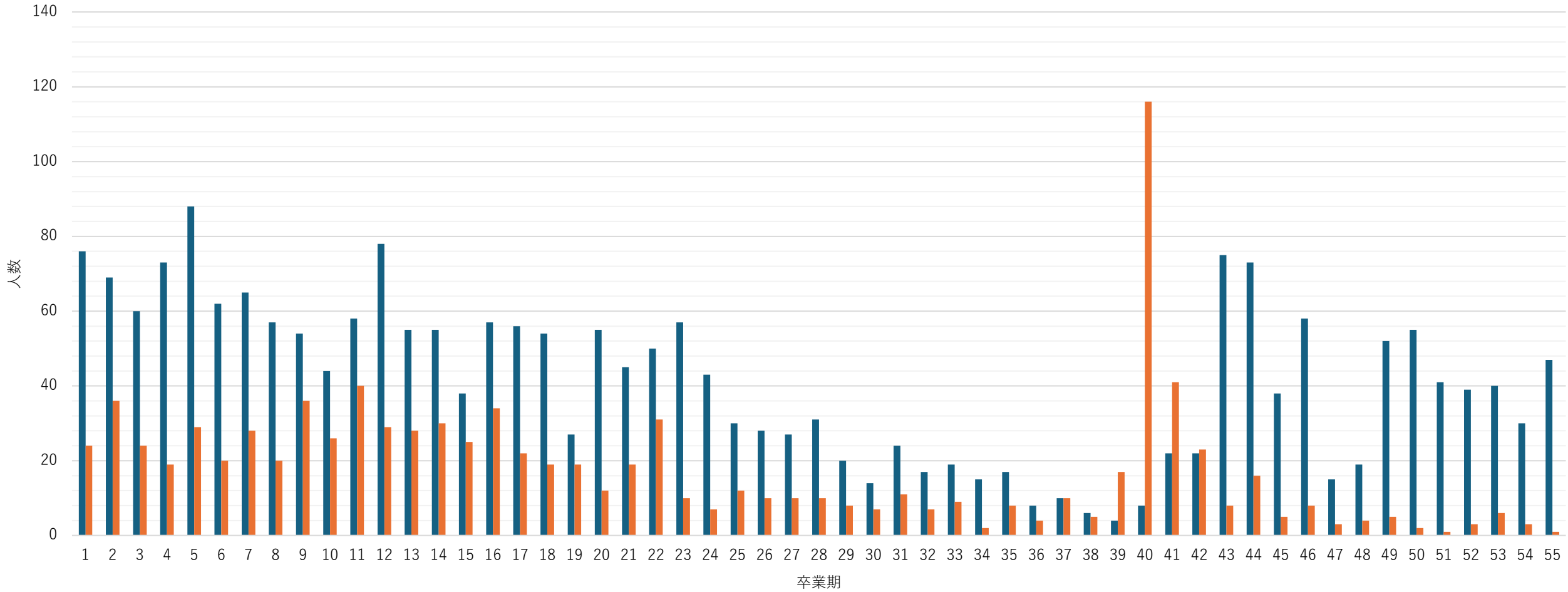
納入者数

■ 終身会費 ■ 年会費



卒業期別 終身会費納入者数・年会費納入者数

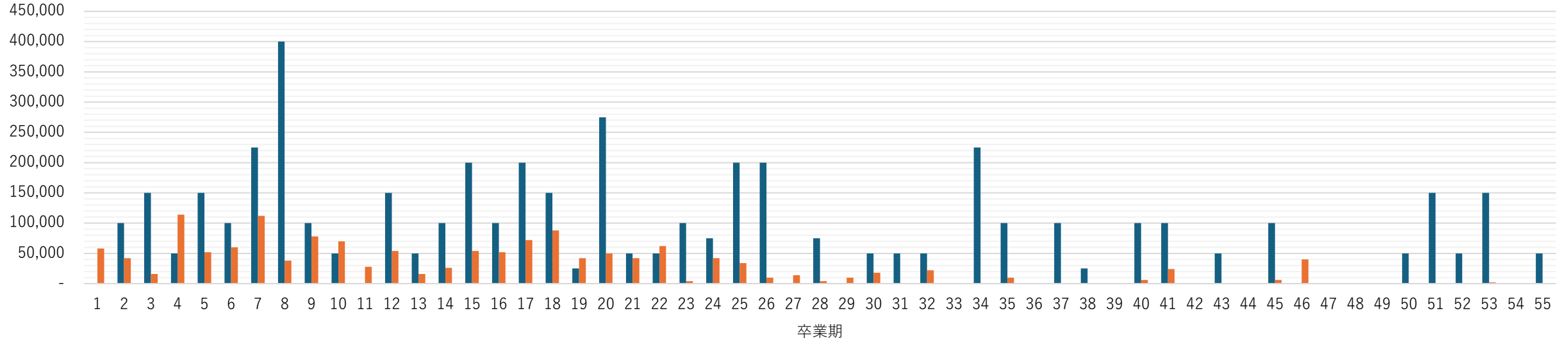
■ 終身会費納入者 ■ 年会費納入者



卒業期別 会費納入額・納入者数 2019～2023合計

納入額

■ 終身会費 ■ 年会費



納入者数

■ 終身会費 ■ 年会費

